



連休の思い出

連休と言っても9連休ではなく、プレミアムフライデーもなく、カレンダーどおりの休みであったが、5月3日から7日まで適当に動き回っていた。

最初は、親父の墓参りである。NHKの朝ドラ「ひよっこ」の舞台である奥茨城より南の方に、足が少し不自由だが元気な90過ぎの母親が一人で住んでいる。自転車にも乗れないので、親父の墓掃除に適度に帰っている。今回は暫く行っていなかったので雑草が凄かった。自分のこと、家族のこと、孫のことなどをひとりごちながら一時間半くらいかけて草むしりをしたので、親父も状況報告とともに喜んでくれたのに違いないと満足した。母親には掃除前後の写真を撮って報告したが、耳がまた少し遠くなった感じを受けた。

孫は年少さんと1歳児の二人で、埼玉にいる。3か月ぶりくらいに遊びに行った。幼稚園は行き始めて直ぐにおたふくになったとかで、まだ慣れていない感じである。散歩がてら外で遊ぼうと出かけたなら、間もなく雨が降ってきて、雨宿りや肩車などしながら重さを感じつつ帰ってきた。可愛い室内で数時間遊んでいると流石に還暦過ぎには堪えてくる。帰りの電車では目覚ましを掛けて寝入っていたが、それでもやはり楽しい一日であった。

これまた暫く遠ざかっていた新小岩商店街に行った。自宅から自転車で小一時間位なので運動としても丁度良い距離である。商店街には惣菜屋さんやお菓子屋さんなど手づくりの店も多いし、安い店もあり、結構楽しめるのだ。運動靴などはよく買っているし、パチンコ屋には必ず入る。これはトイレのためである。そして今回、洋服のリサイクル店の前で、高齢の方が財布を手にして、〇〇さん、〇〇さ～ん、と呼んでいる人を見かけた。数メートル離れた方が振り向いて、「落としませんでした？」「私のです。」とのやりとり。財布に名前があったか、名前の入った紙などが入っていたのだろう。孫は年少さんになり、傘や靴や鞆などなど書いてある名前が読めると教えてくれたが、年を取ると読めなくなる恐れはあるが、名前を書く必要は同じかなあとふと思った次第である。

最後は京橋にある美術商の展示会に行った。伊藤若冲の掛け軸を7点ほど展示販売するというので、目の保養に行った。数百万から2千万円位の値が付いていたが鑑定団でも同じくらいかな、などと不謹慎なことも思った。ただ、若冲以外の画家の展示にも結構いいものがあり満足できたのはよかった。若冲は今から30、40年前に中村橋近くの練馬美術館で初めて見た。群鶏図や草花図、魚介図もあった記憶があるが、その時の衝撃は今でもはっきりと覚えている。やはり若冲はいい、凄い。

海外旅行や国内旅行はしなかったけれど、私なりに楽しい連休でした。

麻賀倫太郎